

地域学校協働活動 青りんごだより

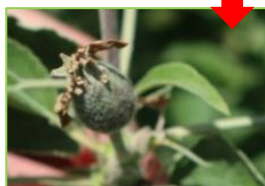
# 3,4年総合的な学習 りんごの摘果体験と観察

令和6年5月号③ 大谷小学校 地域活動推進員 堀志津

草刈り機に乗って登場！白田憲彦さん



摘果は、真ん中の大きな実（中心果）だけを残して、まわりの実をとる仕事です。3本の指を使って、ねじって取るのがコツです。



花の観察をした20日後、白田さんの畑を訪れると、木には、小さな実がたくさん生っていました。「これ何？」「これがりんごになるの？」と、子供たちから素直な言葉が聞かれました。今回、白田さんからは、摘果の仕方や摘果をする理由を教わりました。

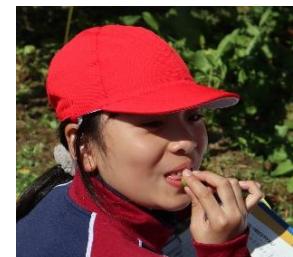
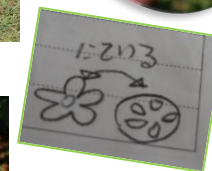
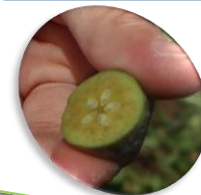


「もったいなーい！」と言いながらの摘果作業。もったいないと思える摘果ですが、大きなりんごに育てるためには必要なのだと学びました。

## みんなで協力して、フルーツはかせになろう！



子供たちで話し合い、総合学習のテーマを決めました。



りんごの向き今は上向き♪

フルーツ博士になるために、自分の知りたいことについて調べました。白田さんから、「今は、実と木を育てるために葉っぱがすごくがんばっている」と聞き、葉っぱに注目したり、輪切りにした実の中を観察したり、実をかじったり、なめたりして調べていました。中の小さな白い種がどうなっていくのかな、今はすっぱくて苦いりんごが、甘くなるのは不思議だな、など新たな疑問も生まれたようです。

最後に、白田さんより「夏至を過ぎると、りんごの向きが変わる」とお聞きしました。子供たちは、はてなマークいっぱい表情でした。白田さん、次回の見学もどうぞよろしくお願いいたします。